

**日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会
GEWEX 小委員会 第 24 期第 1 回会合 議事録**

日時：平成 30 年 4 月 26 日（木） 15:00-17:00

会場：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス D 会議室

出席委員：高藪 縁，松本 淳，鼎 信次郎，高橋 洋，梶川義幸，
尾瀬智昭，沖 大幹，荻野慎也，大楽浩司，田中賢治，寺尾 徹，樋口篤志，森 修一，
重 尚一（スカイプ），増永浩彦（スカイプ），仲江川敏之（スカイプ）

（出席委員数 16 名，定足数以上で成立）

欠席委員：沖 理子，佐藤友徳，山田朋人，芳村 圭

議題：（配布資料 1）

1. 正副委員長・幹事選出
2. GEWEX パネル活動関連報告
 - (1) GDAP（増永委員）
 - (2) GHP（寺尾委員）
3. GEWEX 関連サイエンスプロジェクト等報告
 - (1) post-MAHASRI に向けて（寺尾委員）
 - (2) CORDEX Asia ESD 関係の活動（大楽委員）
 - (3) ひまわり 8・9 号利用について（樋口委員）
 - (4) GPM・GCOM-W/C 観測（高藪委員）
 - (5) TF（今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合）
活動報告（高藪委員）
4. 今後の GEWEX 関係，Post-MAHASRI 関係他関連行事予定
5. GEWEX 小委員会の今後の方針について

配布資料：

資料 1: GEWEX 小委員会 第 24 期第 1 回会合 アジェンダ案

資料 2: GDAP 報告-2018Apr

資料 3: GEWEX_GHP 報告

資料 4: GCOMGPM 紹介

資料 5: TF 活動紹介

資料 6: 20180419_TF グランドデザイン_決定稿承諾版

議事:

1. 正副委員長・幹事選出

委員長に高薮委員, 副委員長に松本委員と鼎委員,
幹事に梶川委員と高橋委員がそれぞれ選出された。

2. GEWEX パネル活動関連報告

(1) GDAP

増永委員より配布資料 2 に沿って説明がされた。GEWEX GRP からの変遷を説明。活動状況として, GEWEX integrated product にむけて各 data product の相互比較による統合データを整備中。

【質疑】

沖委員より Integrated product について質問があった。

Q: 過去の同様な活動との関連について

A: 増永委員: 経緯を把握していない。

Q: 主導機関について

A: 増永委員: 機関的なサポートはない。公式なデータサーバーなども現時点ではない。

Q: 時空間解像度および期間について

A: 増永委員: 空間解像度が 1 度, 時間解像度が 3 時間間隔。期間はこれまでの各プロダクトと同様と思われる。

(2) GHP

寺尾委員より配布資料 3 の項目 1 に沿って 2017 年 10 月にネパールのカトマンズで開催された TPE-GHP 会議 の報告があった。

1. 各 RHP からの報告において Post MAHASRI の立ち上げを宣言した報告があった。

2. TPE (Third Pole Environment) の議論においては、GEWEX の cross-cutting として活動する案で基本合意した。チベットの南斜面が CORDEX では粗い解像度のため日本の高解像度の実験データに期待されている。MAHASRI-RA(20km)にも高い期待。

3. GEWEX 関連サイエンスプロジェクト等報告

(1) Post-MAHASRI に向けて

寺尾委員より配布資料 3 の項目 2 に沿って Post-MAHASRI への動きについて報告があった。2018 年 10 月の GHP 会議までに Science Plan 作成の必要あり。これまで国内で開催した一連の workshop への参加者は多いので関心は高い。2018 年 5 月 8 日の GEWEX Conference での発表前に叩き台作成。C: 高薮委員長: Drafting は 5 月 8 日前に共有できると良い。

【質疑】

1. 梶川委員より中国のプロジェクトとの関係についての質問があり経緯が説明された。
2. 高薮委員長から Post-MAHASRI は RHP として GEWEX に承認を貰う予定かの質問があり、そのように確認された。
3. 沖委員よりチベット高原の中央部が TPE に抑えられている中、後発且つ予算がない状況で周辺の Science だけでは厳しくないかとの質問があり、寺尾委員より、Post-MAHASRI ではこれまでの実績を基にまずは南アジアからネパールに繋げることが説明された。
4. 沖委員より次期 RHP としての目的（何を明らかにするのか）についての質問があった。既存の観測を続ける視点ではなく、観測技術などを展開することにより世界（欧米）にも Impact のある結果が見込めるかが重要ではないか、また、SATREPS であれば、何か目玉の技術がないと予算は取りにくいと思われるので、そのあたりを良く検討する必要があるとの意見があった。これに対し、寺尾委員より、サイエンスのポイントとしては、境界層、複雑地形上の水輸送などが重要であると考えられるとの返答。

(2) CORDEX Asia ESD 関係の活動

大楽委員より GEWEX の周辺活動として CORDEX の活動に関して紹介があった。

- ・ 松本副委員長：CORDEX は必ずしも GEWEX ではなく、WCRP 中の GEWEX と並ぶ活動の一つと確認された。<https://www.wcrp-climate.org/core-projects>
<https://www.wcrp-climate.org/about-wcrp/wcrp-organization>

(3) ひまわり 8・9 号利用について

樋口委員より資料（HIMAWARI-8）に沿って紹介があった。

- ・ 高薮委員長より、GEWEX 関係の研究活動においても、このような新しい衛星観測の情報交換を活発化し、衛星観測データを大いに活用していくとよいとの意見があった。
- ・ 鼎副委員長：ひまわり 8 号などは日本の技術なので、STREPS/Post-MAHASRI など今後のプロジェクトの鍵として活用可能ではというコメントがあった。
- ・ 樋口委員より 背の低い雨、水蒸気の鉛直プロファイルなど何か面的に取れるものがあると良い。衛星データとアジアならではの現地観測の組み合わせで何か break through が望めるかとの問いかけがあり、高薮委員より衛星観測からの物理量リトリバルの向上のためには、雨滴粒形分布を現地観測で測ることに価値があるとの意見、重委員からも基本的にはレーダーの精度向上のために、雨滴粒形分布があると良いとの同意があった。

(4) GPM・GCOM-W/C 観測

高薮委員長より配布資料 4 に沿って報告があった。

JAXA site (G-potral: <https://www.gportal.jaxa.jp/gp/top.html>) の活用に期待。

(5) TF（今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合）活動報告

高薮委員長より配布資料 5 に沿って報告があった。宇宙基本計画工程表における水循環・雲・降水に関わるリモートセンシングについて 2022 年以降の計画がないことに端を発した議論で、学術会議から 2017 年に提言が発出された。この提言を鑑みて TF は 23 の学協会の参加の下、地球観測計画グランドデザイン（資料 6）を作成。

- ・ 尾瀬委員より、計画・決定における優先順位付けの方法についての質問があり、高薮委員長から、必要性、現実性、実用面、国際間の位置づけ/協調などミッション 1 つ 1 つについて検討された内容が、グランドデザインに書いてあるので参照願いたいと回答。現時点では活動を知って頂き、皆様に学会を通して大いに意見を言って頂き、bottom up を目指したい。
- ・ 大楽委員より、地上観測の研究者との連携や議論はあるかについての質問があり、高薮委員より TF の中では直接は議論されておらず、各衛星ミッションの中において地上観測との接点があると回答。C: 樋口委員: そもそも議論する場がなかったのも事実。
- ・ 高薮委員長より、グランドデザインは宇宙基本計画工程表に載っている部分は議論しておらず、これは宇宙基本計画工程表の計画なしと書かれている部分の話。

4. 今後の GEWEX 関係, Post-MAHASRI 関係他関連行事予定

今後の行事, 会議出席予定: 増永委員, 寺尾委員からは提示あり。配布資料 2, 配布資料 3 をそれぞれ参照のこと。本日欠席の委員からも情報収集の必要性（高薮委員長）。

5. GEWEX 小委員会の今後の方針

- ・ 寺尾委員より、次回の小委員会開催について、10 月の GHP annual workshop の前, 9 月中には Science Plan 策定に向けた議論のための会議を行いたいとの要請があり、委員の参加しやすさも考慮の上, 日程調整をすることとなった（松本副委員長）。
- ・ 高薮委員長より次回の小委員会での報告話題の提供が呼びかけられた。
- ・ 松本副委員長より、GEWEX に関する日本のプレゼンスを上げる必要性が示され、それについての議論がなされた。
- ・ 議事録の確定は委員間でメールで確認のうえ、修正は委員長一任で了承することとする。